

土砂災害

土砂災害の種類と前兆現象

<h3>がけ崩れ(急傾斜地の崩壊)</h3>  <p>「がけ崩れ」は斜面が突然崩れ落ちる災害です。崩れた土砂は、斜面の高さの2〜3倍も離れた所まで届くことがあります。</p>	<h3>土石流</h3>  <p>山腹や川底の石や土砂が、長雨や集中豪雨等の大量の水と一緒に津波のように襲ってくるものを「土石流」といいます。</p>	<h3>地すべり</h3>  <p>地面は地質の異なる層が積み重なっています。地下水等がすべりやすい層にしみ込み、そこから上の地層がすべり落ちるのが「地すべり」です。</p>
--	--	--

前兆現象

 <p>がけから水がしみ出している</p>	 <p>がけから小石がぼらぼら落ちてくる</p>	 <p>急に川の水がにごり、流木がまざる</p>
 <p>がけに割れ目が見える</p>	 <p>山鳴りがする</p>	 <p>雨が降り続けているのに川の水位が下がる</p>

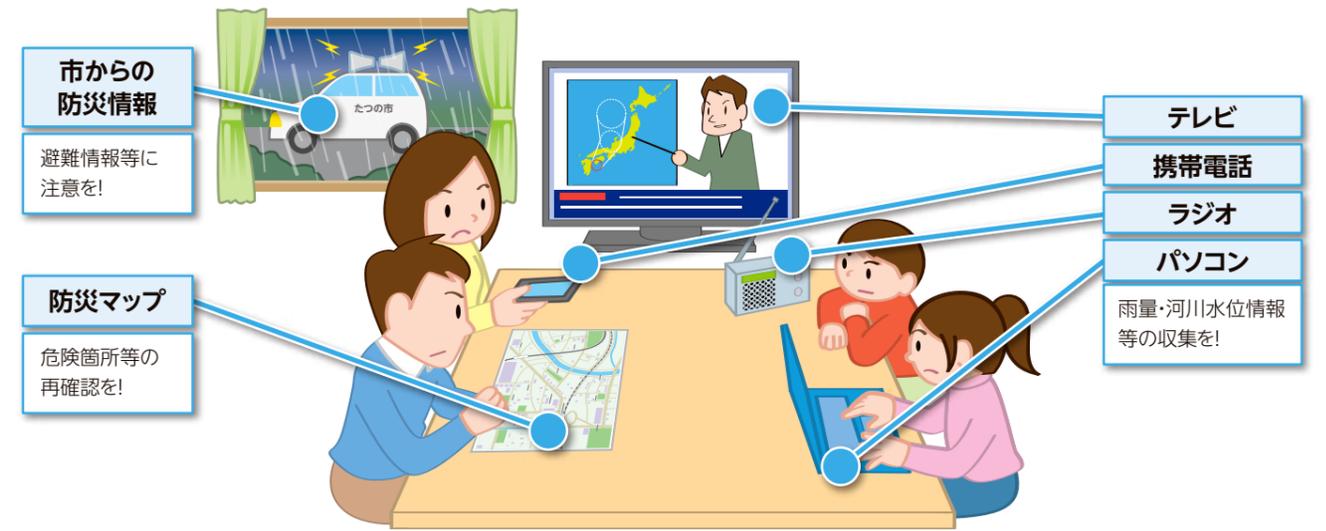
<h3>山が崩れると...</h3> <p>家屋等の建物の倒壊 土砂の大きな力によって、家屋等の建物が倒壊する可能性があります。</p>	 <p>集落の孤立 道路等に土砂が流出すると、道路が寸断されるため、集落が孤立する場合があります。</p> 
---	---

土砂災害に対する心構え

<h3>早めの避難</h3>  <p>大雨や台風時には、土砂災害が起こりやすくなります。早めに避難しましょう。</p>	<h3>土砂災害に遭遇したら</h3>  <p>屋外で土砂災害に遭遇したら がけ崩れの場合 …斜面から離れる方向へ 土石流の場合 …谷筋に対して直角に逃げましょう。</p>	<h3>命を守る最低限の行動</h3>  <p>建物にいる時に土砂災害が発生したら建物の2階以上のがけとは反対側へ避難しましょう。</p>	<h3>地震でも発生する</h3>  <p>土砂災害は地震でも発生します。大きな地震の後の余震、降雨での土砂災害にも注意しましょう。</p>
---	---	---	---

いろいろな情報収集の方法

大雨時は、自ら情報収集する意識が大切です。台風等の接近は数日前から予測することができるので、事前に情報収集することで、災害に対する備えをしましょう。



情報の入手先

災害に関する情報は、市民の皆さんが自分で入手することも可能です。インターネットで公開されている情報も活用しましょう。携帯電話をお持ちの方は、QRコードからホームページアドレスを読み込むことも可能です。

<p>たつの市ホームページ 防災マップをWeb上で閲覧できます</p> 	<p>たつの防災防犯ネット 災害時には市の緊急情報が掲載されます</p> 	<p>たつの市Webガイド 市の公共施設のマップが確認できます</p> 
<p>兵庫県防災(気象)情報 県内の災害情報が確認できます</p> 	<p>神戸地方気象台 気象台の発表する気象情報が確認できます</p> 	<p>川の防災情報 河川の水位情報が確認できます</p> 
<p>兵庫県地域別土砂災害危険度 県内の土砂災害警戒情報が確認できます</p> 	<p>ひょうご防災ネット Hyogo Emergency Net 県内の緊急情報が日本語や外国語で確認できます</p> 	<p>兵庫県CGハザードマップ Hyogo Prefectural CG Hazard Map 兵庫県のハザードマップが確認できます(英語対応あり)</p> 

For foreigners(外国語にも対応しています)

災害用伝言ダイヤル(171)

災害用伝言ダイヤル(171)は、災害時にNTTより提供される「声の伝言板」です。使用方法を知っておきましょう。(※サービス開始は、テレビ・ラジオ等で通知されます。)

<p>171 ▶ 1 ▶ 被災した家の電話番号 ▶ 伝言を入れる(30秒以内) ガイダンス(説明)がながれます。被災者は自宅の電話番号を、被災地以外の方は被災地の方の電話番号を市外局番からプッシュする。</p>	<p>171 ▶ 2 ▶ 被災した家の電話番号 ▶ 伝言を聞く ガイダンス(説明)がながれます。被災者は自宅の電話番号を、被災地以外の方は被災地の方の電話番号を市外局番からプッシュする。</p>
--	--

※災害時、緊急でない電話はなるべく控えましょう。

毎月1日・15日0:00~24:00、正月三が日(1月1日0:00~1月3日24:00)、防災週間(8月30日9:00~9月5日17:00)、防災とボランティア週間(1月15日9:00~1月21日17:00)に体験利用ができます。